

電気製品の事故

部品劣化で発火も

(2010年9月21日掲載原稿)

ヘアドライヤーなどさまざまな電気製品で、電源コードの付け根部分の損傷によるショートが原因とみられる発火事故が発生しています。

コードの付け根は、屈曲や荷重が加わりやすい部分。その繰り返しによって、断線が発生する場合があります。損傷に注意し、外観に異常がないか、使用時に確認するようにしましょう。

また、長年使用している家電製品は熱、湿気、ほこりなどの影響により、内部部品が劣化し、発煙・発火の恐れがあります。今の季節はまだ、扇風機を使用しているご家庭も多いと思います。古い扇風機からの出火による火災で死亡事故も発生しています。

洗濯機やエアコン、ハロゲンヒーター、電気ストーブなど、その他の家電製品についても以下のような点があれば要注意です。

①異常な音や振動がする、動きにむらがある②異臭や焦げ臭いにおいがする③電源コード傷や破れがある④電源プラグや変色している⑤電源プラグが差しっ放しになっていて、ほこりや湿気がたまっている。

これらの症状がみられる場合は、直ちに電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いて、お買い上げの販売店またはメーカーにご相談ください。

商品やサービス、設備によって起きた事故の情報は、消費生活センターにお寄せください。